



Round Table Discussion

座談会



村井 俊哉

MURAI Toshiya

京都大学大学院医学研究科
精神医学教授

司会



磯部 昌憲

ISOBE Masanori

京都大学医学部附属病院
精神科神経科病院講師



甲村 弘子

KOMURA Hiroko

こうむら女性クリニック院長



山田 恒

YAMADA Hisashi

兵庫医科大学
精神科神経科学講師

(五十音順)

テーマ

社会における摂食障害

摂食障害はさまざまな要因が絡み合って発症するとされるが、多くの患者が抱く、やせ願望や肥満への恐怖、ボディイメージの歪みには、その時代時代の文化や社会背景が影響していると考えられる。国内28施設を対象とした調査では、神経性やせ症の新規患者数は2019年に比較して2021年は約1.5倍に増加している¹⁾。この増加の背景には何があるのか。本座談会では、ファッションモデルの影響やインターネットの功罪といった課題を掘り下げ、さらに女性の生涯にわたる健康支援という視点から産婦人科医の先生も交えてディスカッションを行った。